

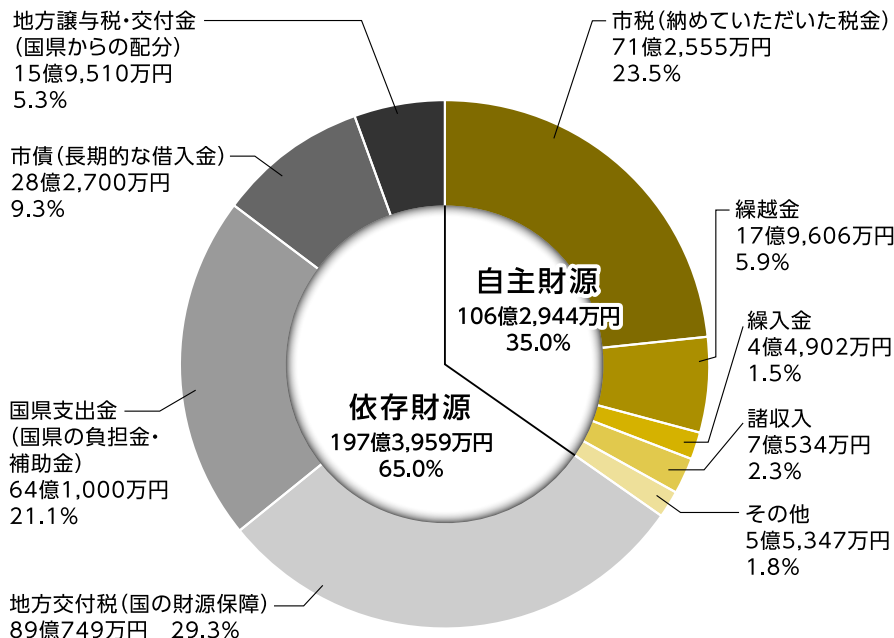
令和3年度決算概要

8月29日から9月22日まで開催された市議会定例会において、令和3年度一般会計決算が認定されましたので、その概要をお知らせします。

歳入 303億6,903万円

歳入総額は303億6,903万円で、前年度に比べて約55億3千万円(15.4%)の減となりました。

《前年度》358億9,435万円



●市税

市税は前年度から約2億5千万円増。主に、新幹線設備の軽減特例がこれまでの1/6から1/3に変更となり固定資産税が増えたことによるものです。

●地方交付税

前年度から約4億円増。主に、国税収入の増額により、普通交付税が増えたことによるものです。

●国県支出金

前年度から44億6千万円減。主に、特別定額給付金給付事業の補助金が減ったことによるものです。

●市債

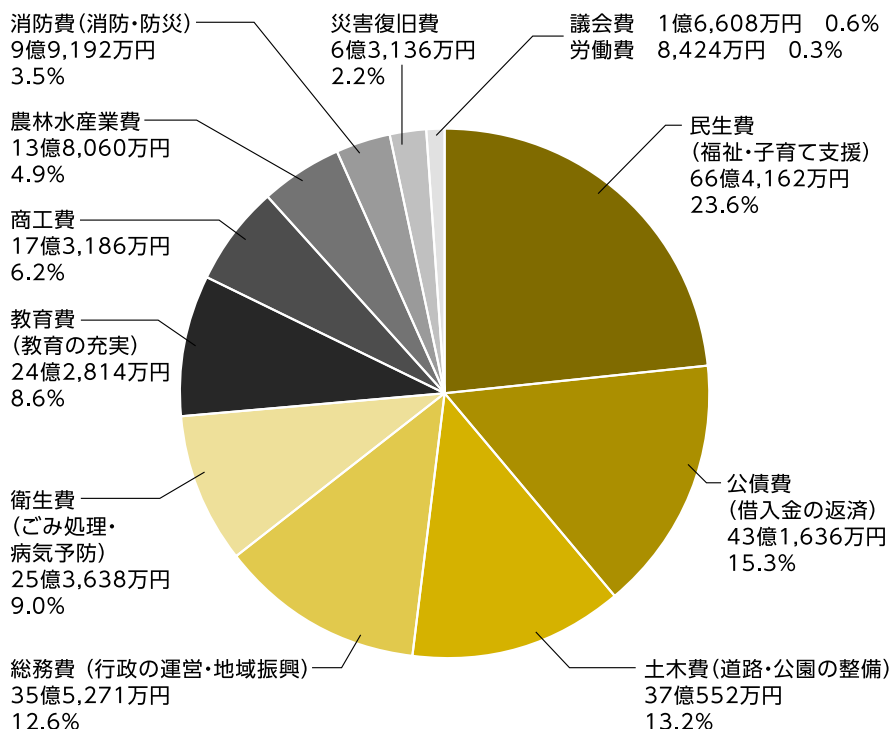
前年度から17億5千万円減。主に、借換えが減ったことと、学校施設などの整備事業の減少によるものです。

*市が自主的に確保できる財源を自主財源、国や県から収入する財源を依存財源といいます。

歳出 281億6,679万円

歳出総額は281億6,679万円で、前年度に比べて約59億3千万円(17.4%)の減となりました。

《前年度》340億9,828万円



●民生費

前年度から約6億3千万円増。主に、子育て世帯等臨時特別支援事業によるものです。

●公債費

前年度から約7億2千万円減。一般会計の借入金の残高は、令和3年度末で約408億1千万円となっており、前年度と比べて約13億4千万円減りました。大型の建設事業が完了し、借入金より返済金(元金)が上回ったことによるものです。

●土木費

前年度から約3億9千万円減。主な理由は、除排雪経費が減ったことによるものです。

●総務費

前年度から約38億4千万円減。主に、令和2年度にあった特別定額給付金事業が令和3年度はなくなったことによるものです。